



計画策定の趣旨

～新会津若松市のスタート～

会津若松市は、県内でも先がけて市町村合併に取り組み、平成16年11月1日に北会津村と、平成17年11月1日には河東町と合併しました。

地理的、歴史的に密接な関係にあった3市町村は、従来からほぼ一体的な生活圏を形成していましたが、合併によって、今後一層、会津地方の中心的な役割を果たしていくことが求められています。また、合併後の新会津若松市の市民一人ひとりが「住んでよかった」、「いつまでも住み続けたい」と真に実感できるまちを創造するためには、限られた行政資源を適切に配分し、地域資源を有効に活用しながら、地域の均衡ある発展と市民生活の向上を図っていかねばなりません。

そのため、合併後の新市として、新たな枠組みで長期的かつ総合的なビジョンのもとに、一体的にまちづくりを推進していくため、ここに新たな長期総合計画を策定するものです。

この長期総合計画は、合併時に策定した「会津若松市・北会津村新市建設計画」及び「会津若松市・河東町新市建設計画」を踏まえ、本市が持つ様々な特性や地域資源を最大限に活用したまちづくりを進め、魅力ある「会津若松市」を築いていくための指針となるものです。計画に掲げる本市の将来都市像を市民と行政が共有し、同じ目標に向かってまちづくりに取り組むことにより、新会津若松市の創造をめざします。

序論

基本構想

基本計画

重点政策

基本政策

福祉健康

教育文化

産業経済

生活環境

都市基盤

協働参画

計画推進

地域別将来展望

附属資料